

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議
						学校教育班合議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	令和 6 年 2 月 7 日
名 称	文化財保護委員会会議		
日 時	令和 6 年 2 月 7 日（水） 10 時 00 分～11 時 30 分		
場 所	公民館 第 1 研修室		
出席者	委員 8 名（木下、尾崎、北向、大西、三原、菊池、北川、松本） 教育委員会 鈴木教育長、谷口教育振興課長、村上主幹、佐藤根主査		
内 容	【教育長挨拶】 【報告事項】 別紙 4 項目について事務局より説明を行った。 ○委員からの意見等 （１）郷土館リニューアル関係 - 郷土館の冬期開館において現在トイレは使用できないが今後どうなるのか。また 2 階には暖房機は設置されてないが今後どうなるのか（北向） →週末しか開館しないため水道凍結を考慮し元栓を止めている。現在のところ暖房機をさらに設置することは考えていない。 - 土足化も時系列の展示もよいリニューアルになったと思う。（尾崎） （２）郷土館事業関係 10 大ニュースの投票者数は以前と比べてどうか（大西） - QR コードのチラシを各社会教育施設の利用団体に配布しては（菊池） →例年陸上自衛隊駐屯地に依頼していた紙での投票を QR コードに変更したことで投票者数は減少している。多く方に関心を持ってもらい、投票いただけるよう実施方法や周知方法を工夫していく。 - 郷土館をリニューアルしたということで、郷土館を会場とした催しを行ってはどうか。（木下） →10 月に郷土館主催ではないが、ジオパーク主催で郷土館を会場としたイベントを行っていた。いずれにしても郷土館の主催事業は必要と考えている。 - 地域学習は継続してほしい。（尾崎） （次ページへ続く）		

【協議事項】

別紙２項目について事務局より説明を行った。

(１)名称由来看板関係

- ・看板の整備についてはわかったが、史跡自体の修理も教育委員会が行うのか。(松本)
- ・双葉幼稚園の門柱が残っており、保存した方が良いと考えるが。(菊池)
→看板は教育委員会が設置しているので補修するものであり、史跡自体はその設置者が補修を行うものと認識しているので、教育委員会では史跡自体の補修は行わない。双葉幼稚園の門柱については史跡として記録する必要があるかを含め後日現地を確認する。

(２)郷土館整備関係

- ・トイレの整備について、先のリニューアルでもご質問いただいていたが、町長を含め必要性は認識しているところだが、整備内容や費用の関係で令和６年度での予算化を見送った状況である。(鈴木教育長)
- ・郷土館の耐震診断はどうなっているか。(菊池)
→対象の建物ではなかったため調査はできていない。
- ・床地図の範囲を富良野圏域にしないのか。(菊池)
→表示エリアを広げることでジオパークエリアが小さくなるので、考えていない。基本的にはジオパークエリアを最大限の幅とした形で作成する。
- ・ジオパークに関する展示について、展示を見に来た方が何か納得できたり理解できたりして達成感を与えられるような展示になるよう期待している。(大西)

【その他】

○委員からの意見等

- ・榎本氏の重要無形文化財（総合）認定について、町民に広く認知されていないと感じる。(菊池)
- ・上富良野町のこどもが学校の授業として伝統芸能の『狂言』に触れたり学べたりする機会ができ、上富良野ならではの教育として他の市町村に対し自慢できるような体制ができればと思っている。(大西)
→学校での部分は校長会や教頭会を通じて協議する案件となるので、情報提供をしていく。